

Nakamura Choukou REPORT

第51期 年次報告書
2020年4月1日～2021年3月31日



株式会社中村超硬

証券コード:6166

第 51 期（2021 年 3 月期）のご報告

当社グループは、電子材料スライス周辺事業において、中国の江蘇三超社に対するダイヤモンドワイヤ生産設備の譲渡等の案件が第 52 期にずれ込むこととなり、また、特殊精密機器事業においては新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい事業環境となりました。しかしながら、子会社の日本ノズル株式会社が行う化学繊維用紡糸ノズル事業においては、世界的なマスク需要の拡大を受け、同社が扱う不織布製造装置や不織布関連ノズル等の売上が大きく伸長したことにより、同社の業績は第 50 期（2020 年 3 月期）を大幅に上回りました。

これらの結果、第 51 期における売上高は 3,806 百万円（前期比 36.1% 増）、営業利益は 167 百万円（前期は 578 百万円の営業損失）、経常利益は 181 百万円（前期は 716 百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は 7 百万円（前期は 600 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの状況

1 電子材料スライス周辺事業

電子材料スライス周辺事業においては、中国の江蘇三超社に対するダイヤモンドワイヤ生産設備の譲渡等の案件が第 52 期にずれ込む見通しとなった影響により、売上高は 5 百万円（前期比 99.3% 減）、セグメント損失は 410 百万円（前期は 687 百万円のセグメント損失）となりました。

また、新型ダイヤモンドワイヤ製造装置「PHX-01」を開発し、2021 年 3 月より販売を開始いたしました。

2 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業においては、産業機械向け実装機用ノズルの売上は「5G」関連分野における需要の盛り上がりを受け前期から増加したものの、耐摩工具関連の売上は新型コロナウイルス感染拡大の影響による工作機械関連の市場環境の悪化により、前期から減少いたしました。

これらの結果、売上高は 768 百万円（前期比 9.0% 減）、セグメント利益は 42 百万円（前期比 64.3%）となりました。

3 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業においては、新型コロナウイルス感染拡大による世界的なマスク需要の高まりを受け、不織布製造装置や不織布関連ノズル等の売上が大きく伸長いたしました。

これらの結果、売上高は 3,023 百万円（前期比 143.5% 増）、セグメント利益は 644 百万円（前期比 330.2% 増）となりました。

4 マテリアルサイエンス事業

マテリアルサイエンス事業においては、新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトの開発が中心となり、売上高はサンプル提供に係る少額に留まりました。

これらの結果、売上高は 8 百万円（前期比 21.1% 増）、セグメント損失は 155 百万円（前期は 121 百万円のセグメント損失）となりました。

※当連結会計年度より「マテリアルサイエンス事業」を加えた 4 セグメントに区分して説明しております。

第 52 期（2022 年 3 月期）事業戦略について

国内外の経済状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、先行きが極めて不透明な状況にありますが、後述する前提条件により、第 52 期当社グループの業績見通しは、以下のとおりといたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益 (△損失)	経常利益 (△損失)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (△損失)
第 5 2 期予想	4,600	600	600	800
第 5 1 期実績	3,806	167	181	7
増減額	793	432	418	792
増減率 (%)	20.9	258.1	229.7	—

1 電子材料スライス周辺事業

電子材料スライス周辺事業においては、江蘇三超社との協議により新たな合意が得られ、江蘇三超社の現地工場での作業実施後、2022 年 3 月までに残契約を完了することを前提として、江蘇三超社に対する契約対価未計上額 650 百万円（技術対価 150 百万円、一定の生産条件達成時の対価 500 百万円）を売上高として織り込んでおります。なお、設備対価未計上額 750 百万円については、特別利益として織り込んでおります。

また、引き続き新型ダイヤモンドワイヤ製造装置「PHX-01」の販売、半導体向けダイヤモンドワイヤの開発、販売に取り組んでまいります。

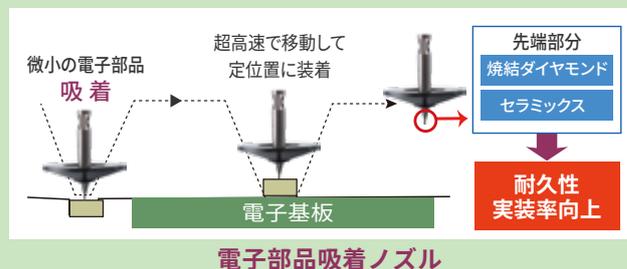
新型ダイヤモンドワイヤ製造装置
「PHX-01」



2 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市場環境の不透明さはあるものの、工作機械向け耐摩工具の販売は当期末より一部改善の兆しが見えてきていることに加え、「5G」関連分野における電子部品も当期に続き好調に推移するものと想定しております。

そのため、第 52 期の売上高は当期売上高から 17.2% 増の 900 百万円を見込んでおります。



3 化学繊維用紡糸ノズル事業

子会社の日本ノズル株式会社が行う化学繊維用紡糸ノズル事業については、新型コロナウイルス感染拡大による世界的なマスク需要の高まりから、同社が扱う不織布製造装置及び不織布関連ノズル等の受注環境は当期に引き続き好調に推移しており、2021 年 4 月末時点で次期売上分として約 2,000 百万円の受注を確保しております。

そのため、第 52 期の売上高は当期と同水準の 3,000 百万円を見込んでおります。



不織布製造装置



不織布関連ノズル

4 マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトの開発については、第 52 期中の量産顧客の獲得に向け取り組んでおり、高機能フィルム分野など多くの企業からサンプル提供要請を頂くとともに、当社においても製品の改良、高度化に取り組んでおります。

なお、株式会社山全と共同で取り組んでいるナノサイズゼオライトのパイロットプラントについても、第 52 期中の稼働に向け取り組んでおります。

ナノサイズゼオライト製品形態



ナノサイズゼオライト事業化に向けた取り組みについて

当社ではナノサイズゼオライトの事業化に向け、透明吸湿フィルム分野をはじめ、接着剤や塗料、抗菌・抗ウイルスコーティング剤やコスメ・ヘルスケア分野等の企業に対し、量産採用に向けてサンプル提供を継続しております。

様々な分野の企業において進められているナノサイズゼオライトを利用した製品開発の進捗状況についてご報告いたします。

ゼオライトとは？



多孔性
臭い
水

ナノサイズ化により機能性 UP



- 沈降抑制
- 透明性
- 脱臭
- 触媒
- イオン交換
- 吸着
- 高分散
- 滑らかな触感
- 吸着量増加
- 吸着速度向上

拡大するとスポンジのように無数の穴を持つ多孔質構造の結晶性化合物。構造中の空間、細孔を利用し、吸着、イオン交換等の機能を持つ。ナノサイズ化によりこれらの機能を向上させることが可能。

透明吸湿フィルム

大手メーカーにて開発ステージから事業化ステージへ
➡ エンドユーザーへのサンプル供給がスタート

1年前



高い吸湿性
高濃度配合

高い透明度
ナノ粒子を均一分散

現在



接着剤・塗料の吸湿用添加剤

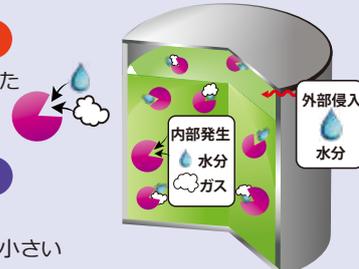
大手化学メーカー等にて開発ステージから事業化ステージへ
➡ エンドユーザーへのサンプル供給がスタート

長寿命化

均一に拡散・混練されたナノゼオライトが水分とガスを吸着

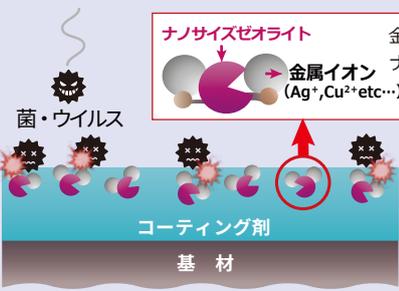
高品質化

高強度かつ高品位
ナノ粒子のため影響が小さい



抗菌・抗ウイルス機能付透明コーティング剤

複数のコーティング剤 + 金属イオンで実証試験中
➡ サンプル出荷量も増加傾向



ナノサイズゼオライト
金属イオンを保持したナノサイズゼオライト (Ag⁺, Cu²⁺ etc...) を表面に分散配合

菌・ウイルス

コーティング剤

基材

コスト低減

透明性の付与

高い抗菌性

B to C 商品への採用拡大

当社技術の認知度を高め、メーカー・商社との連携にて、より多くの顧客開拓に努める

ナノサイズゼオライトの特長

発熱反応

温感



クレンジング

ガス吸着

臭いの吸着



石鹸・シャンプー

徐放性

薬効・美容・芳香成分を徐々に放出



入浴剤

Top Message

平素より株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2019年3月期末において債務超過となり、その後、構造改革等を実施した結果、2020年3月期において債務超過は解消いたしました。その後、継続企業の前提に関する注記が付き、その後も当社グループ一丸となって構造改革に継続的に取り組んだ成果が表れていることに加え、2021年3月期末時点の有利子負債は3,313百万円まで減少し、資金面における当面の不安は解消されている状況にあることから、2021年3月期末において継続企業の前提に関する注記を解消いたしました。

株主の皆様には、長らく、ご心配をおかけいたしましたこととお詫び申し上げますとともに、このような状況にもかかわらず、当社をご支援いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

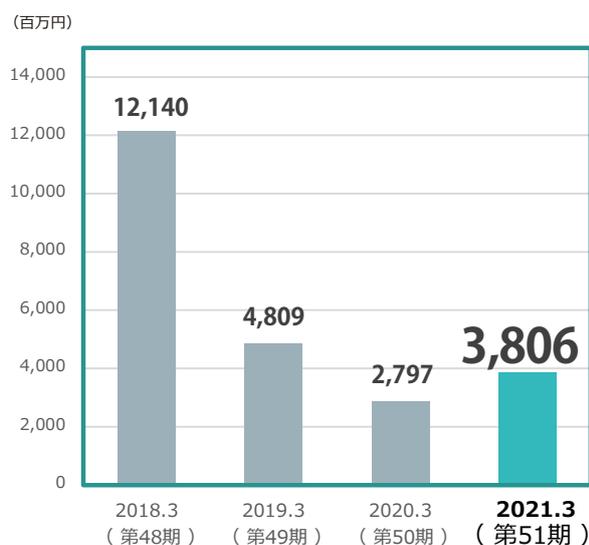
当社グループは今後もさらなる成長を果たすべく、全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
工学博士

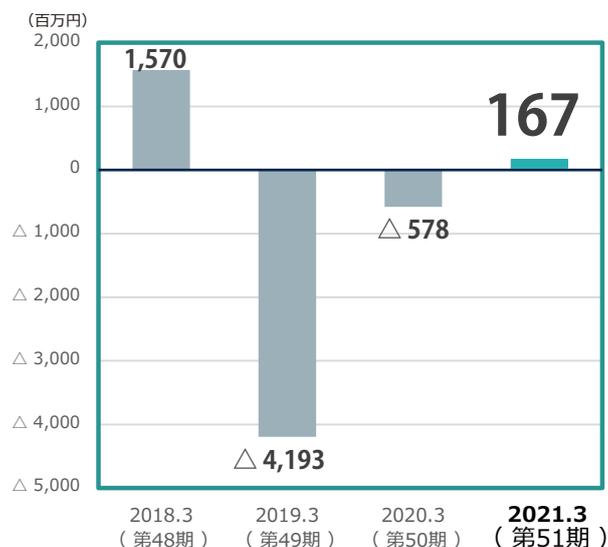
井上 誠

財務ハイライト（連結）

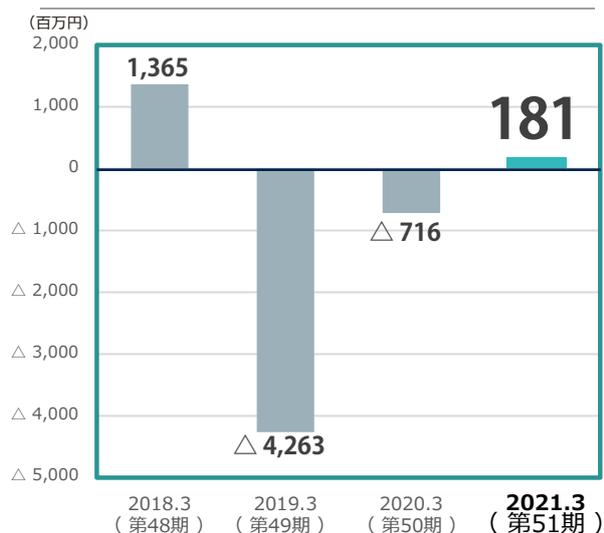
売上高



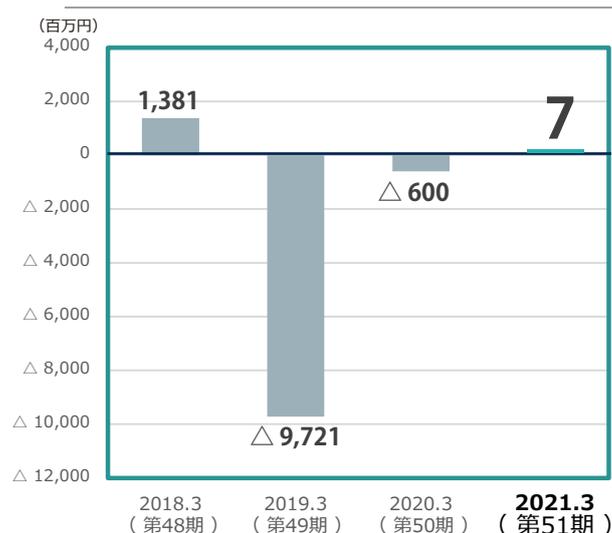
営業利益（△損失）



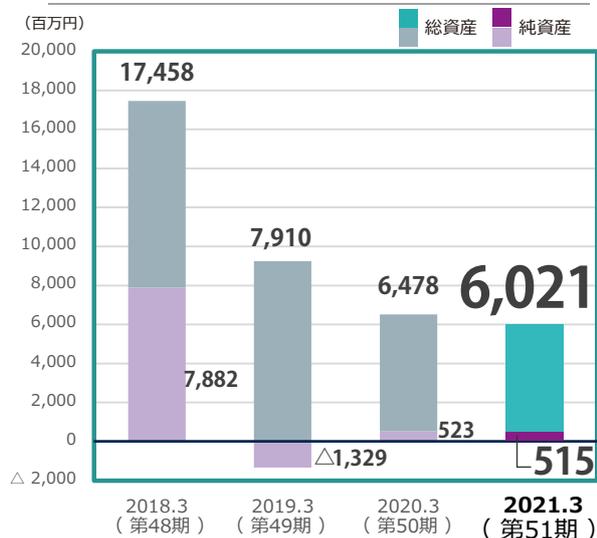
経常利益（△損失）



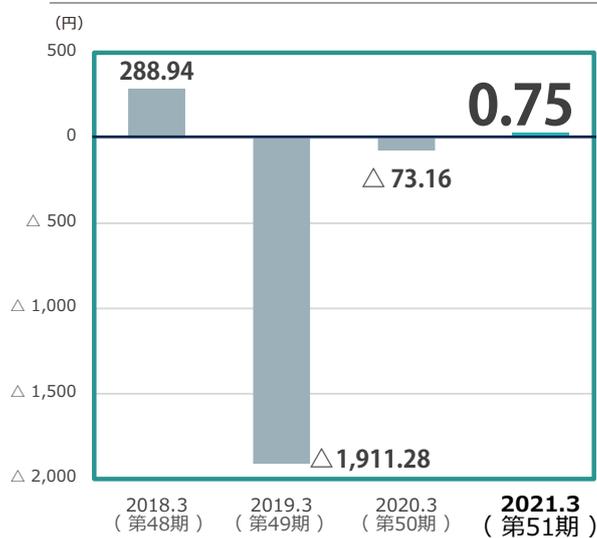
親会社株主に帰属する当期純利益（△純損失）



総資産・純資産



1株当たり当期純利益（△純損失）



会社概要

(2021年3月31日現在)

商号	株式会社中村超硬
代表	代表取締役社長 井上 誠
資本金	50百万円
創業/設立	創業：1954年/設立：1970年12月
事業内容	・ダイヤモンドワイヤ製造装置の開発・販売、 半導体向けダイヤモンドワイヤの開発・販売 ・特殊精密部品及び工具の設計・製造・販売 ・化学繊維用紡糸ノズル及び周辺部品、不織布製造装置、 不織布関連ノズル等の設計・製造・販売
本社所在地	〒593-8323 大阪府堺市西区鶴田町27-27
従業員数	連結：166名 単体：93名
連結子会社	日本ノズル株式会社 上海那科夢樂商貿有限公司

役員

(2021年6月25日現在)

代表取締役社長	井上 誠
専務取締役	三上 正幸
取締役	藤井 秀亮
取締役	川岸 悟史
取締役	井上 紘章
取締役	田植 啓之
取締役	京谷 忠幸
取締役	大山 隆司
監査役(常勤)	戒能 眞介
監査役	松村 安之
監査役	中川 雅晴

注) 1. 取締役 京谷忠幸、大山隆司の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 戒能眞介、松村安之、中川雅晴の3氏は、社外監査役であります。

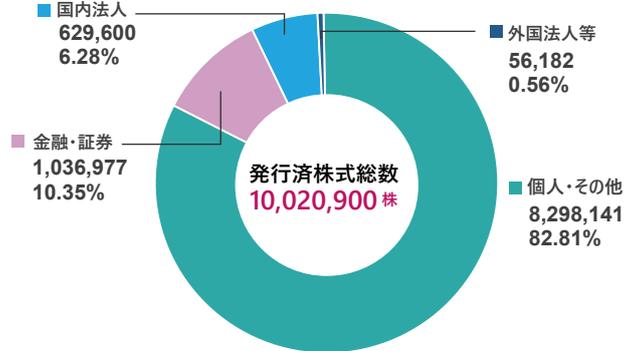
株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	13,000,000株
発行済株式の総数	10,020,900株
株主数	9,453名
大株主(上位10位)	

株主名	持株数	持株比率(%)
株式会社SBI証券	434,900	4.34
楽天証券株式会社	294,400	2.94
井上 誠	258,920	2.58
株式会社YMD	248,000	2.47
株式会社ナカムラコーポレーション	179,000	1.79
井上 阿佐美	159,180	1.59
井上 紘章	133,800	1.34
井上 絢哉	127,500	1.27
津野 新治	85,300	0.85
宇田 昌弘	73,900	0.74

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nakamura-gp.co.jp

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)



Nakamura

株式会社中村超硬

〒593-8323
大阪府堺市西区鶴田町27-27
<http://www.nakamura-gp.co.jp>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。